

よかよかだより

地域とつながるボランティア活動

地域や福祉施設での行事やイベントで、趣味や特技を活かした演芸を披露してほしい、といった依頼を、センター立ち上げ当初から多くいただいています。最近では、福祉施設の夏祭りや町主催イベントの運営ボランティアなどの相談も増えており、地域や行政などとの協働も増えてきました。

今回は、地域のイベントでの実際の活動事例をご紹介します。

○△□とおはなしの会「きらら」

11月3日(日)、竜光寺公園で「○△□(まるさんかくしかく)」主催の「お化けの森マルシェ」が行われました。

○△□は、「広川町をもっと素敵にもっと楽しく」をテーマに活動している団体。マルシェ開催にあたり、当センターへボランティア募集の相談に來られました。

相談を受けた当センターでは、ボランティアグループ「おはなし

の会「きらら」をご紹介します。マルシェ当日は、きららによる紙芝居や大型絵本などの読み聞かせ、エプロンシアターが行われ、両団体から「また一緒にやりたい」という声が聞かれました。

地域やボランティア団体同士が協働することで、できなかったことが可能になり、相乗効果が生まれることがあります。

当センターではそのような「つながり」を大切に、さまざまな地域活動を応援しています。「つながり」をお探しの際は、お気軽にご相談ください。

☎ ボランティア活動センター

「よかよか」(はなやぎの里2階、平日8時30分～17時15分)

☎ 0943・32・7073

FAX 0943・32・7074

ボランティア団体紹介

笑楽グループ

私たち「笑楽グループ」は、参加者の皆さまに楽しいひとときを過ごしていただきたいと思い、さまざまな活動をしています。

- ・ 銭太鼓、安木節、日向ひょっとこ踊りや、独創性に富んだ踊り
- ・ 懐かしい唱歌や楽曲に合わせた、軽快なリズムのストレッチ
- ・ 誰でもできる体ほぐし
- ・ 介護予防になる「広川まち子ちゃん元気アップ体操」(ひろかわ健康隊考案)
- ・ 福岡発祥の「健康レクササイズ」など、座ってできる軽体操

笑う力。歌う力。いつまでも元気にと動く力。それぞれの行動は健康寿命と深く関係しているといわれています。

- ①「笑う門には福来る」と言うことわざがあります。「笑い」は人と人との潤滑油であり、宝物の一つです。
- ②「歌うこと」は、1番簡単な脳トレではないでしょうか？ 幼いころを思い出させてくれます。
- ③「体操」は、自分の足で大地を踏みしめて歩くためのエネルギー源です。



私たちは小さな団体ですが、「明るく、楽しく、元気よく」をモットーに活動しています。「一人でも多くの皆さまとふれあいたい」と考えていますので、どうぞお気軽にお声かけください。楽しみにお待ちしております。

代表 小西タマヨ

広川町の学校教育

文部科学省が10月30日(水)、全国の公立学校のうち、21・3%がコミュニティ・スクールを導入していると発表しました。

コミュニティ・スクールとは、地域や保護者が学校運営の基本方針について意見し、その方針を承認・評価する制度。平成29年の地方教育行政法改正により、すべての公立学校がコミュニティ・スクールとなることが努力義務となりました。広川町ではこの法改正を

受け、平成30年にコミュニティ・スクールを設置。幅広い地域住民や保護者と連携・協働して、さまざまな活動を行っています。

このコミュニティ・スクールを構成する広川町学校運営協議会の委員が、11月8日(金)、町内すべての小中学校の教育を見学しました。上広川小学校、広川中学校、中広川小学校と見学し、最後の下広川小学校では給食を試食しました。



地域とともにある学校づくり

学校の公開



下広川小学校 11/6 命の授業

4年生の総合的な学習の時間に実施。以下4つを目的に、寺田恵子さん(めぐみ助産院)による話や体験活動が行われました。命の大切さについて考え、親子の繋がりを深める時間となりました。

- 子どもたちの自己肯定感、自尊感情を高める
- 保護者のお産の記憶や幼少時代の思い出を回想し、子どもへの愛情を再確認する
- 子どもと保護者の「性=生」を理解する
- 保護者のいない児童に、保護者に代わって「あなたは大切な人で愛されるべき存在である」ということを伝える



下広川小学校では、「自分の考えを伝え、子どもの考えに質問する子ども」「意欲的に学習のめあてを自分たちで立てる子ども」「書く力、読む力を身に付ける子ども」を育てることを目標にしています。その一環として、児童が1つ上の学年の授業を見学する、学習参観を行っています(6年生は1年生の授業を見学)。

この取り組みにより、子どもたちは「こんな姿になりたい」という理想をもち、「よりよい授業モデル」を自分自身の中につくって授業に臨むことができます。教師は自分の授業改善に役立ち、子どもの学力向上につながります。

聞 教育委員会事務局

学校教育係

☎ 0943320093
(内線262、263)

上広川小学校

10/11 道徳教育の研究成果発表会

福岡県では道徳教育を推進するため、4つの課題を挙げています。上広川小学校はこのうち2つの課題※に向き合い、「考え、議論する道徳」へと転換を図っています。その実践的研究の成果を、3クラスの授業で発表しました。

【1年い組】規則の尊重「みんなのためのきまり」

【3年ろ組】節度、節制「いつもきちんと」

【6年い組】勤労、公共の精神「みんなのために」

※「児童生徒が問題意識を持ち、道徳的価値の理解を自分自身の関わりとの中で深めるための指導の工夫」と「家庭や社会地域と連携した指導の工夫」



広川中学校

10/18 文化発表会

体育館で合唱コンクールや文化部の作品紹介、科学の甲子園ジュニア大会の報告（詳細は本紙10月号）、英語スピーチ、弁論発表、ブラスバンド部や全校唱の演奏が行われ、多目的ホールでは生徒の作品が展示されました。

11月12日には上広川小学校と同様、道徳教育の研究成果を発表しました。

中広川小学校

11/27 研究成果の中間報告会

広川中学校と連携し、福岡県の重点課題「主体的に学び深く思考する児童生徒の育成」の研究に取り組んでいます。その成果の中間報告として、子どもたちが授業で表現活動や、今までの振り返りを行いました。

